

事業名 第2期亀岡市総合戦略推進事業  
 (地域再生計画の名称) (企業版ふるさと納税による第2期亀岡市総合戦略推進計画)

個別事業① (事業担当課)	京都サンガF.C.と育むシビックプライド醸成プロジェクト (生涯学習部生涯スポーツ課)	事業費 (内、地方創生応援税制の 適用のある寄附額)	1,632,547円 (1,300,000円)
事業内容及び成果	<p>亀岡は京都サンガF.C.のホームタウンであり、ホームスタジアムがあるということに誇りを持ってもらうため、「シビックプライド醸成プロジェクト」と題し以下の取組を行った。</p> <p>まずは子どもたちのシビックプライド醸成を目指し、市内の小学校1校(2学年)を対象に、スタジアムを体験してもらうスタジアムツアーをプレ実施。スタジアム内の見学や普段入ることができないピッチで、軽い運動やボールを使った遊びのほか、メインスタンドで昼食をとるなど普段できない体験の場を設けた。子ども達からは「スタジアムにまた試合を観に来たいと思った」、「プロサッカー選手になって、ここで試合ができるよう頑張りたい」などの声があり、サンガやスタジアムを身近に感じてもらえる取組となった。</p> <p>次に、市民の方々にサンガとスタジアムについて興味を持ってもらうことをねらいとして、パブリックビューイングの開催と、まち中をサンガのチームカラーである紫に染める「紫大作戦」を実施。パブリックビューイングについては、J1昇格がかかった最終2試合において、スタジアムのスタンド席を無料開放し、2試合で約3,100人がスタジアムで観戦した。その中には、はじめて観戦してきたという方もおり、今までスタジアムに足を踏み入れたことがない人にとって、スタジアムに足を運ぶ機会を創出することができた。「紫大作戦」については、スタジアム周辺や駅、保津橋に「サンガ応援のぼり」や市役所別館南側9号線沿いにサンガの昇格を祝した横断幕を設置するなど、まち中にサンガのチームカラーである紫が広がった。</p> <p>今後の取組として、ホームタウンデーを活用した販賣創出や、昨年度プレ実施したスタジアムツアーを市内全小学校(各校2学年)を対象として実施し、子どもたちが就学期間中に1度はスタジアムに足を踏み入れる機会の創出を図るなど、子どもから大人まで多くの方に、亀岡にはサンガとその拠点であるスタジアムがあるということに誇りをもってもらえるよう、ホームスタジアムのあるまち亀岡を盛り上げるための取組をさらに進めていく。</p>		

事業の取組、成果に関する写真等



スタジアムツアー プレ実施



紫大作戦

個別事業② (事業担当課)	「川の駅亀岡水辺公園」を活用した新たな観光需要創出事業 (産業観光部商工観光課)	事業費 (内、地方創生応援税制の 適用のある寄附額)	23,760,061円 (10,000,000円)
事業内容及び成果	<p>本市の新たな観光需要を創出すべく、桂川舟運の歴史・文化の学習の場、スポーツやアクティビティの体験の場、地域住民や来訪者の交流の場として、観光振興及び地域活性化を図るため「川の駅・亀岡水辺公園」を設置し、また本施設への指定管理者制度導入に向けて、活用の方向性を検討するため以下の取組を実施した。</p> <p>コロナ禍に注目を集める屋外アクティビティの振興のため、イベントスペースやBBQ利用者を想定した手洗い場等の整備を行ったほか、市民を対象としたカヌー・SUP等河川アクティビティや河川敷を活用したライブ等のイベント、そして市外在住者も対象とした生き物コレクションアプリ「バイオーム」を用いたクエスト事業、ファミリーラフティング体験イベントおよび歴史・文化学習プログラム講演等、各種施設の利活用を検討することを目的とした実証事業を計4回実施した。市内外から親子連れをはじめ256名の参加があり、参加者からは「有料であっても本格的なラフティングを体験したい」といった意見があり、河川アクティビティや川遊び体験、デイキャンプなどへの関心が高いことがわかり、「川の駅・亀岡水辺公園」が持つポテンシャルや期待値の高さを確認することができた。</p> <p>令和4年度からは指定管理者が決定し、4月には竣工式・オープニングイベントを開催した。今後は、観光振興及び地域活性化に加え、小学生を対象とした環境に対する心を育む体験型環境学習やエコツアーとしての利活用を行うとともに、教育旅行の誘致や「世界に誇れる環境先進都市・亀岡」の発信拠点としても活用を図る。</p>		

事業の取組、成果に関する写真等



川をライブ会場としたイベント



ファミリーラフティング



イベントスペースに出店したキッチンカー

個別事業③ (事業担当課)	亀岡運動公園野球場本部席等改修事業 (まちづくり推進部都市整備課)	事業費 (内、地方創生応援税制の 適用のある寄附額)	62,994,800円 (50,000,000円)
事業内容及び成果	<p>亀岡運動公園野球場は、地域の社会人チームや少年野球チームに利用されており、休日の予約がほぼ埋まるなど、市民に親しまれる人気の施設であるが、昭和52年に竣工してから約40年経過しており、雨漏りなどの経年劣化や、本部席には窓がなくプレイ中は吹きさらしとなることから、過去に土埃が原因でコンピュータが故障するなど構造的な問題が発生していた。これに対し亀岡軟式野球連絡協議会から要望があり、設備の更新および利便性向上のための改修事業を実施した。</p> <p>本部席においては、窓ガラスの設置により土埃が入りにくい構造とするとともに、雨漏りしていた箇所の改修も行った。そして、空調設備とグラウンドから直接本部席へアクセスできる通路を新設することで、熱中症対策や傷病者の救護場所として使用できるスペースが整い、利便性の向上に繋がった。</p> <p>また、ダグアウトのベンチ改修や照明のLED化により競技環境の向上を図るとともに、コンクリートの打ちっぱなしだった観客席に新たなベンチを新設することで、競技をする方だけでなく観戦する方にとっても快適な施設となった。</p> <p>利用率は、コロナ禍で一時期は落ち込んだが、昨年度からはコロナ前の水準に戻りつつある。今後も市内の中核的なスポーツ施設の一つとして、指定管理者による利便性の高い施設運用に努める。</p>		

事業の取組、成果に関する写真等



改修後本部席



ダグアウトの新ベンチ



竣工式典及び竣工記念試合

●第2期亀岡市総合戦略推進事業：(イ)スポーツ、歴史・文化、観光の魅力で産業が輝くまちづくり事業

	内容		指標値(R4.3)	実績値(R4.3)	達成／不達成
各事業と関連する重要業績評価指標(KPI)の達成状況、評価	KPI①	年間観光入込客	1,937,737人	1,590,905人	不達成
	KPI②	年間観光消費額	31.5億円	42.7億円	達成
外部有識者会議 評価・意見 (亀岡市総合戦略推進会議)	<p>【地方創生に効果があった。】</p> <p>〈個別事業①〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スタジアムのピッチに立つと感銘を受ける。こうした取組が小学生にとって良い経験になると思う。</li> <li>パブリックビューイングなどの参加しやすい取組から楽しんでもらうことで、文化が醸成されていくと考える。</li> <li>スタジアムでの体験は印象に残る。成人式だけではなく子どもを対象とした、スタジアムの芝の上で活動できる取組を実施してほしい。</li> </ul> <p>〈個別事業②〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍に需要が高まったアウトドアを亀岡の豊かな自然と結び付け、多様な遊びの体制を整え、観光客の誘致を行ってほしい。</li> <li>施設が存在があまり知られていないと感じる。イベントがある日だけ賑わうのではなく、普段から癒しを求めて人が集まる、そんな施設にしてほしい。</li> </ul> <p>〈個別事業③〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不具合を改修できて良かった。亀岡運動公園には陸上競技場もあるので、そちらも随時整備してほしい。</li> <li>スポーツ観光を発展させ、移住・定住に繋げてほしい。</li> </ul>				